

2025 第十次中期3ヶ年計画 重点取組事項

— 理念 —

人に優しい豊かな地域社会を目指して



経営ビジョン(理念を実現するためのありたい姿)

組合員のくらしを豊かにするJA

私たちは、常に事業の発想起点を組合員に置き、悩み事に寄り添い、営農・相談活動を通じて組合員の資産とくらしの向上に具体的な成果を上げられるJAを目指します。

地域に貢献できるJA

私たちは、豊かなくらしの実現に向け、農業・環境・福祉への貢献を通じて、地域における存在価値を高め、信頼と賛同を得られるJAを目指します。

安定した事業・経営ができるJA

私たちは、環境の変化に的確に対応し、マーケティングやDXを取り入れ、より高度な経営に挑戦し、事業活動と経営のバランスが保たれたJAを目指します。

職員が大好きなJA

私たちは、組合員や地域社会のために働く職員を大切に考え、すべての職員が誇りを持って生き生きと働き成長実感が得られるJAを、職員を家族のように大切にするJAを目指します。

基本方針

1. 農業者の所得増大、農業生産の拡大
2. 食と農を通じた地域活性化への貢献
3. 協同活動を支える組織・経営基盤の強化



基本方針1

農業者の所得増大、農業生産の拡大

■農畜産物販売力の強化

①安心安全な管内農畜産物の生産拡大

- ◆生産計画の精度向上による生産拡大
- ◆収量拡大・品質向上に向けた生産指導の実践



②販売単価向上、適正な価格形成の実現

- ◆販売交渉力の強化、魅力ある直売所運営の実践
- ◆生産コストの農畜産物価格転嫁への理解醸成



■持続可能な農業の実現

①次世代農業を担う人材の育成と確保

- ◆親元就農の促進・支援、新規就農者の就農支援
- ◆青年後継者の仲間づくり、事業承継の相談・支援



②労働力確保・農作業負担軽減

- ◆集落営農の検討や農作業受託組織の支援強化
- ◆環境調和型農業の推進



③農業生産基盤の維持

- ◆農業形態や経営規模に応じた営農相談の実践
- ◆ニーズに応える農業経営提案
- ◆環境変化に対応できる生産指導の実践

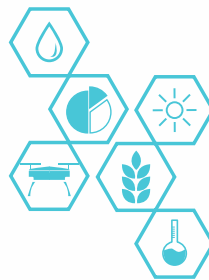
■農業トータルコストの低減

①生産コストの低減

- ◆銘柄集約肥料や低コスト資材の普及
- ◆スマート農業の推進

②出荷コストの低減

- ◆コンテナ出荷や業務用バラ出荷の拡大
- ◆さととも選果場の利用拡大



■営農相談体制の強化

①担い手コンサルティング機能の発揮

- ◆営農拠点施設の機能強化に向けた再編整備
- ◆営農指導業務のデジタル化による効率化

②営農経済事業体制の整備

- ◆農業形態や経営規模に応じた営農相談の実施
- ◆ニーズに応える農業経営提案



基本方針2 食と農を通じた地域活性化への貢献

■組合員の資産とくらしの向上

①くらしの活動による地域活性化

- ◆地域課題の解決に向けた地域貢献活動の実施
- ◆新たな活動提案を通じた組織の活性化

②価値提供型相談活動によるライフプランサポート

- ◆FPコンサルタントを通じた、ライフプランニーズに応える最適な商品・サービスの提供



■広報活動と体験を通じた理解醸成

①広報活動を通じたJAのファンづくり

- ◆公式LINE「とれ蔵通信」等の情報発信ツールの活用



②体験を通じた農とJAの理解醸成

- ◆体験型の食農教育の実施



■SDGsへの貢献

- ◆SDGsの実践を通じた地域社会からの賛同を得られる組織づくり



基本方針3 協同活動を支える組織・経営基盤の強化

■組織基盤の強化

①組合員の意思反映、運営参画に向けた取り組み

- ◆組合員の課題解決に向けた対話の継続
- ◆准組合員懇談会等を通じた農業・JAへの理解醸成と、地域応援団としての農業者と消費者の相互理解
- ◆組合員大学を通じたリーダーシップを発揮する組合員の育成



■安定した事業経営基盤の強化

【事業の高度化】適正利益の確保による健全経営

【ガバナンス・内部統制】ガバナンスと内部統制の確立、強化

【施設・体制】店舗再編、体制整備による経営の効率化

【人材】職員貢献意欲(エンゲージメント)の向上と人材育成

【デジタル】デジタル化への対応とDX推進



第十次中期3ヶ年計画 重点取組指標

1. 農業者の所得増大、農業生産の拡大への取り組み

(1) 「農業者の所得増大、農業生産の拡大」重点取組指標

項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標	目標	目標
主要5品目の取扱重量増加 【想定】取扱重量前年比1~1.5%増加	18,250t	18,450t	18,750t
カントリー集荷量の拡大 【想定】市場価格差1俵350円	3,800t	4,000t	4,300t
直売の農畜産物売上増加 【想定】農畜産物売上年7,000万円増加	26.1億円	26.8億円	27.5億円
肥料銘柄集約品目の普及拡大によるコスト低減 【想定】1袋あたり114円~740円	25,000袋	27,000袋	30,000袋

(2) 農業資金供給への取り組み

項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標	目標	目標
農業融資新規実行 累積実績 3,000百万円	1,000百万円	1,000百万円	1,000百万円

2. 食と農を通じた地域活性化への貢献

項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標	目標	目標
地域貢献活動の実践 累積目標 108回(全支店1回以上の開催)	36回	36回	36回

3. 協同活動を支える組織・経営基盤の強化への取り組み

項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標	目標	目標
正組合員との対話・訪問	対話先 全件訪問	対話先 全件訪問	対話先 全件訪問
准組合員との対話・訪問	対話先 全件訪問	対話先 全件訪問	対話先 全件訪問
准組合員収穫体験ツアー(回数・参加人数)	9回・180人	9回・180人	9回・180人